

佐久間 均 実行委員長挨拶

皆さん、こんにちは！

今日は大変暑い中、本当に猛暑ですけど、たくさんの方にお越しいただきまして、ありがとうございます。

猛暑続きのこの時期ですが、我々日本人にとっては非常に大事で、また特別な時期でもあります。それはまず、お盆という行事です。家族で集まり、皆さんでお墓参りにいたり、ご先祖様を敬う昔からの習慣があります。そのお盆が明ける頃、先の大戦が終わった終戦記念日です。その二つが重なっていることが偶然ではないような気がしてなりません。それというのも、その終戦に至るまで沖縄の悲惨な地上戦や、2回に渡る原爆投下、そしてまた、東京大空襲や日本国内いたるところの戦災により、おびただしい数の方々が亡くなられました。そうした方々はご先祖様と一緒にこれからの日本、我々のために何か考えていらっしゃるのかなと思います。この終戦ということが日本にとって大きな歴史的な節目、平和国家を目指していくための大きな第一歩となったと思います。それを応援してくれるのがご先祖様や犠牲になった方々ではないかなと思います。数え上げたらきりが無いほどの様々な方たちが犠牲になり、それを踏まえて（平和憲法が生まれ）、平和で安心な暮らしを続けていられるわけです。そのことを一人一人がしっかり自覚し、今後どのようにしたら平和な社会を守って行けるのか、子どもたちに平和な未来を残していけるのか、みんなで一緒に考えていきたいと思います。

今日は「沖縄に心を寄せて」というテーマですが、琉球王朝時代からたくさんの犠牲を払ってきた沖縄。今もなお、小さな島に日本国内にある米軍基地の約7割が集中し、それに伴う事故や事件も多発しています。

これ以上の犠牲者が出ないことを切に願い、今日のイベントが少しでもその沖縄に心を寄せるきっかけになれば幸いです。

今日は沖縄の特産品が当たる抽選もありますので、お楽しみにしていただいて最後までくつろいでお過ごしください。ありがとうございます。

